

## 第6学年西組 家庭科学習指導案

### 「すっきりさわやか 身の回り」

学習指導者 田中 明日香

#### 1 学習指導要領に示された本題材に関わる目標及び内容等

##### 1 家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

##### 2 内容

B 衣食住の生活

(6) 快適な住まい方

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解すること。

(イ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできること。

イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、適切な住まい方を工夫すること。

#### 2 メタ認知・教科に関する子供(34名)の実態

課題設定以前…授業の始めに、自分が分かっていることは何で、まだ分かっていないことは何かを考えていないと感じている。(7名)

課題解決中…授業の途中で、自分の考えと比べながら友達の考えを聞いていないと感じている。

(7名)

一人よりも友達と考えた方がよく分かると感じている。(31名)

説明を聞くよりも、実物を見たりやってみたりする方が分かりやすいと感じている。

(32名)

課題解決後…授業の終わりに、めあてで書いたことができた(分かった)かどうかを振り返っていないと感じている。(6名)

### 3 目指す子供の姿

#### 【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

自分や周りの人が気持ちよく生活するために、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、整理・整頓や清掃の仕方を考える。考えた仕方やそう考えた理由について交流し、よりよい仕方について考えを深め、自分の生活に合った仕方を生活の場で実践している。

本題材では、身の回りの生活の場を見つめて、教室のロッカーの荷物が雑然と置かれている等の問題点を見だし、自分だけでなく友達や家族などの周りの人も気持ちのよい生活を送ることができるように、住まいの整理・整頓や清掃の工夫を見付けようという学習のゴールを設定して学習を進める。課題を解決するために、主に健康・快適・安全の視点で生活を捉え、生活経験や、家族にインタビューしたり本やインターネットで調べたりしたことを基に、学校や家庭で使う学習用具や衣類などの整理・整頓の仕方や、汚れの種類や状況等に応じた清掃の仕方などを考え、考えた仕方やそう考えた理由について交流する。例えば、家庭科室の清掃について「汚れに合った専用の洗剤を使うといいから、コンロの汚れは、油污れ用の洗剤を使おう。焦げ付いているところもきれいになるよ」「洗剤は確かにきれいになるね。でも食品を扱う場所は重曹を使うといいと家族が言っていたよ。重曹は口に入っても安全だからだよ」「なるほど掃除をした後のことも考えているんだね。洗剤はしっかり拭き取ろう」と生活経験や家族のアドバイス等を基に考えた掃除の仕方について交流し、様々な仕方があることやそれぞれの仕方のよさに気づき、よりよい仕方について考えを深めていく。そして、「家でも健康や安全に気を付けて掃除をしたい。洗剤をよく使っていたけど、ペットがいるから、キッチンだけでなくリビングもできるだけ洗剤を使わないようにしたい」などと自分の生活に合った仕方について考え、家庭や学校のみんが使う場所の整理・整頓や掃除をするなど、身の回りを整えて、気持ちのよい住まいにしようとして家庭や学校でも生かしていくのである。

### 4 題材計画（総時数 7時間）

整理・整頓や清掃の仕方について考えたことを学校で実行し、使いやすくなったり快適になったりする達成感を味わうことができるようにする。実際にやってみた後、家庭を想起させ、家庭でもやってみたい工夫を考える場を設定する。題材の学習の中で、考える、実行して自信を高める、振り返るというサイクルを繰り返し行うことで、家庭実践につながるようにする。

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>① 身の回りを見つめよう</p> <p>整理・整頓や清掃の視点で身の回りを見つめ、自分たちで撮影した写真やアンケート結果から課題を設定し、題材の学習計画を立てる。</p>	<p>前②～⑦【すっきりさわやかへの道】</p> <p>題材の導入で考えた学習計画と、学習を通して見付けた工夫を補助黒板に位置付け、いつでも振り返ることができるようにしておく。</p>
二	<p>② 自分に合った道具箱の整理・整頓の工夫を見付けよう</p> <p>道具箱を整理・整頓の仕方を考え、実行する。整理・整頓の工夫について友達と交流することで、互いの工夫やよさを見付ける。分類し、置き場所を決めるなどの自分に合った仕方を考え、次時の見通しをもつ。</p> <p>③ 生活に合った衣類の整理・整頓の工夫を見付けよう（本時3/7）</p> <p>自分たちの服を引き出しに収納する活動を通して、畳み方、入れ方などの整理・整頓の工夫を見付け、生活に合った仕方を考える。</p> <p>④⑤ 汚れや場所に合った掃除の工夫を見付けよう</p> <p>校内の汚れを見つめ、汚れや場所に合った掃除の方法を調べ、大掃除の計画を立てる。計画したことを実行し、交流する。</p>	<p>中②③⑤⑦【見てみてポップ&amp;タイム】</p> <p>自分やグループの実践のアピールポイントをポップにして具体物や写真に貼り付けておき、見て回りながら交流する時間を設定する。</p> <p>後①～⑦【鳥の目でイカそうカード】</p> <p>自分の学習の仕方を鳥瞰的に見つめる。分かったこととその理由、やってみたいこと・生活に生かしたいことの観点での振り返りを習慣化する。題材を通して1枚にまとめる。</p>
三	<p>⑥⑦ 家や学校で実践してみよう</p> <p>学んだことを基に、家庭で実践する方法を考える。実践した場所や仕方をレポートにまとめ、友達と交流し、互いのよさを見付け合う。</p>	

5 本時の学習

目 標	衣類の片付け方について友達と話し合いながら実際に引き出しに収納し、そのように片付けた理由を交流することを通して、整理・整頓の工夫やそのよさを見付けることができる。
--------	---

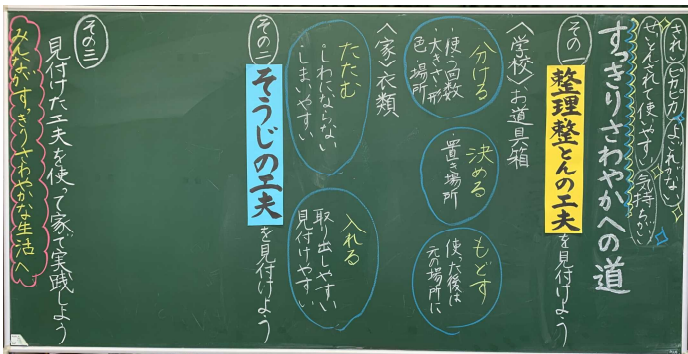
学習活動	主な子供の意識								
<p>課題設定以前</p> <p>1 学習課題を確認する。 【すっきりさわやかへの道】</p>	<p>前の時間は、道具箱の整理・整頓をして、その工夫が衣類の片付けにも使えないか考えたよ。</p> <p>使う回数、種類、大きさや形で「分ける」、置き場所を「決める」という工夫から、衣類を種類ごとに三段に入れることに決めたよ。</p> <p>今日は実際に片付けてみて、道具箱とは違う工夫がないか見付けたいな。</p>								
<p><b>生活に合った衣類の整理・整頓の工夫を見付けよう</b></p>									
<p>課題解決中</p> <p>2 グループで衣類の整理・整頓をする。 【見えてポップ】</p>	<p>種類で「分けて」、入れる場所も「決めた」ね。今日は、服だから「畳み方」や「入れ方」をよく考えないといけないね。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">ズボンとスカートは半分に折って畳むといいよ。</td> <td style="width: 33%;">Tシャツは縦半分に折ると平たく畳めるよ。</td> <td style="width: 33%;">靴下はゴムのところで裏返して組にするよ。</td> </tr> <tr> <td>畳んだ後は、立てて入れたら、使うときに見付けやすそうだね。</td> <td>半分に折ると真ん中からしわが付くから、袖から畳んだらどうかな。</td> <td>ゴムが伸びるから巻いて牛乳パックの仕切りに入れたらどうかな。</td> </tr> </table>	ズボンとスカートは半分に折って畳むといいよ。	Tシャツは縦半分に折ると平たく畳めるよ。	靴下はゴムのところで裏返して組にするよ。	畳んだ後は、立てて入れたら、使うときに見付けやすそうだね。	半分に折ると真ん中からしわが付くから、袖から畳んだらどうかな。	ゴムが伸びるから巻いて牛乳パックの仕切りに入れたらどうかな。		
ズボンとスカートは半分に折って畳むといいよ。	Tシャツは縦半分に折ると平たく畳めるよ。	靴下はゴムのところで裏返して組にするよ。							
畳んだ後は、立てて入れたら、使うときに見付けやすそうだね。	半分に折ると真ん中からしわが付くから、袖から畳んだらどうかな。	ゴムが伸びるから巻いて牛乳パックの仕切りに入れたらどうかな。							
<p>3 整理・整頓の工夫を交流し、再考する。 【見えてポップ&amp;タイム】</p>	<p style="text-align: center;">他のグループはどのように畳んで入れたのだろう</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平らに畳むのではなくて、くるくる巻いているのはどうしてかな。</td> <td style="width: 50%;">畳んで入れたらきれいに入れられるけど、どうして仕切りを使ったの。</td> </tr> <tr> <td>取り出しやすいから立てて入れたけど、使うと隙間ができて倒れるから色ごとに分けて仕切りを付けたよ。</td> <td>くるくる巻いておくと、折り目が付きにくいし、立てて入れやすくて、隙間ができて倒れにくいからだよ。</td> </tr> <tr> <td>くるくる巻く方が畳むより早くできて片付けるときに楽そうだ。</td> <td>仕切りを使うと、ゆとりをもってしまえて折り目も付きにくそうだ。</td> </tr> </table> <p>いろんな工夫があるよ。グループの引き出しの片付け方を見直そう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">くるくる巻く入れ方は、簡単ですができるからいいね。</td> <td style="width: 50%;">仕切りを準備するのは大変だけどあればいつでも入れやすくて便利だね。</td> </tr> </table> <p>自分のやりやすい方法が分かったよ。家でもすっきり片付けできそうだ。</p>	平らに畳むのではなくて、くるくる巻いているのはどうしてかな。	畳んで入れたらきれいに入れられるけど、どうして仕切りを使ったの。	取り出しやすいから立てて入れたけど、使うと隙間ができて倒れるから色ごとに分けて仕切りを付けたよ。	くるくる巻いておくと、折り目が付きにくいし、立てて入れやすくて、隙間ができて倒れにくいからだよ。	くるくる巻く方が畳むより早くできて片付けるときに楽そうだ。	仕切りを使うと、ゆとりをもってしまえて折り目も付きにくそうだ。	くるくる巻く入れ方は、簡単ですができるからいいね。	仕切りを準備するのは大変だけどあればいつでも入れやすくて便利だね。
平らに畳むのではなくて、くるくる巻いているのはどうしてかな。	畳んで入れたらきれいに入れられるけど、どうして仕切りを使ったの。								
取り出しやすいから立てて入れたけど、使うと隙間ができて倒れるから色ごとに分けて仕切りを付けたよ。	くるくる巻いておくと、折り目が付きにくいし、立てて入れやすくて、隙間ができて倒れにくいからだよ。								
くるくる巻く方が畳むより早くできて片付けるときに楽そうだ。	仕切りを使うと、ゆとりをもってしまえて折り目も付きにくそうだ。								
くるくる巻く入れ方は、簡単ですができるからいいね。	仕切りを準備するのは大変だけどあればいつでも入れやすくて便利だね。								
<p>課題解決後</p> <p>4 本時の学習を振り返る。 【鳥の目でイカそうカード】</p>	<p>〇〇さんが立てて入れるといいと言っていてやってみたら、取り出しやすいと分かった。</p> <p>私は家で畳んで立てて入れようと思うよ。畳むのが難しかったので、家で練習もしたいな。</p> <p>友達とやってみて、いろいろな畳み方があってびっくりした。しわにならないように考えることが分かった。</p> <p>くるくる丸めて入れるアイデアが、どんな形の服でも簡単でしわにならないから、家でもやってみたい。</p> <p>次は清掃の工夫を見付けて、身の回りをすっきりさわやかにしたい。</p>								

評価	<p>友達と話し合いながら、衣類を引き出しに整理・整頓し、互いの工夫を見せ合って交流することで、整理・整頓には様々な工夫があることに気づき、自分の生活に生かそうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【方法：発言・様相・記述】</p>
----	--

6 働きかけの詳細

～課題設定以前～ **学習活動1** 【すっきりさわやかへの道】（2～7時間）

第1時の導入の際に題材を通しての課題や学習計画を子供たちと共に考える。その計画と題材内で見付けた整理・整頓や清掃の工夫を補助黒板に掲示して、いつでも振り返ることができるようにしておく。



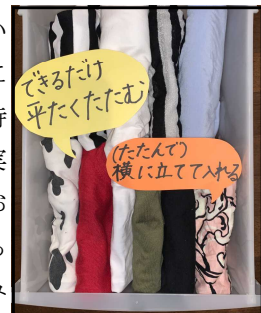
【すっきりさわやかへの道】

本時は、前時に設定した学習課題を板書した状態から授業を始める。課題設定の理由を問い、補助黒板に掲示した学習計画や既習事項を示して、「前の時間に道具箱の整理で見付けた工夫が服でも使えるか考えた。今日は実際にやってみて道具箱と違う、服の整理整頓の工夫を見付けたい」などと課題設定の理由を説明させ、全ての子供たちが課題の妥当性を感じ、課題を共有することができるようにする。

～課題解決中～ **学習活動2** **学習活動3** 【見てみてポップ&タイム】（2, 3, 5, 7時間）

どのように整理・整頓や清掃をすればよいか自分の考えをもった後、実際に実物を使ってやってみる場面を設定する。その中で、自分がした工夫を短い言葉で、ポップ（ふきだし）に書いて、実物に貼り付け、整理・整頓や清掃をした後の様子を見せ合って交流する。ポップに書くことで自分の考えた工夫を自分の中で再確認できる。さらに交流の際、実物とポップをセットで見ることによって、工夫が焦点化され、どうしてそうしたか理由を質問するなど対話も活発になると考える。

子供たちは、前時に、道具箱を整理して見付けた「分ける」や「決める」という観点が衣類にも生かさないかと考え、三種類に分け、それぞれ三段の引き出しに入れることを共通理解している。そして、本時考えたいこととして「畳み方」「入れ方」について自分の考えをもっている。本時は、似た考えの子供をグルーピングしておき、考えた畳み方や入れ方について話し合いながら、グループの友達と、衣類を三段の引き出しに収納する時間を設定する。子供たちは畳み方や入れ方の工夫を色分けしたポップに書いて実物に貼り付けた後、ポスターセッション形式で交流する。ポップを色分けしておくことで、交流する際にも「畳み方」「入れ方」の視点で対話をして考えを深められるようにする。他のグループの整理・整頓した衣類の引き出しの実物と見てみてポップを合わせて見合い、それぞれの工夫の理由について質問をするなどして交流し、自分やグループで考えた整理・整頓の工夫との違いを考えるのである。



【見てみてポップ】

そうして、自分の生活に生かせる工夫について考えていく。最後にグループに戻って、よいと思った工夫を使って収納をし直したり試したりする時間を設定する。そうすることで、「くるくる巻く方が早くて簡単で自分に合っているな」などと自分に合った方法についても考えるきっかけとする。

～課題解決後～ **学習活動4** 【鳥の目でイカそうカード】（1～7時間）

子供が自分の学習を鳥瞰的に見つめて振り返り、題材を通して、一枚のカードに振り返りを蓄積する。振り返る際に、前時の自分や題材導入時の自分を振り返る場を保証することで、題材を通しての自分の成長を実感することができるようにする。振り返りは、分かった（できるようになった）こととその理由、生活に生かしたいことの二つの観点で行うようにする。振り返りを発表させ、全体で共有することで自分の考えに自信をもったり、自分が気付いていなかった工夫に気付いたりできるようにしたい。また、生活に生かしたいことについて振り返り、友達や教師が価値付けたり励ましたりすることで、実践しようとする意欲を高めたい。

すっきりさわやか 身の回り			
みんなが気持ちよく生活できる 住まいの整理・整とんや溝そうの工夫を見付けよう			
鳥の目でイカそうカード			
日付	分かったこと(発見したこと、できるようになったこと)	分かった理由	次にやってみようこと(生活に生かしたいこと)
6月1日	箱を使って、お道具箱を整理整とんしたらきれいになった。	④ 〇〇さんがやっているのをまねしてやってみたらうまく整とんできた。	家の机の引き出しの中も、箱を使って仕切って整とんしたい。

【鳥の目でイカそうカード】